

「工業技術実践」	単位数	3単位
	学科・学年	機械科・第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 企業実習を実施し、ものづくりの専門的な技術・技能の習得を目指す。 2 マナー、コミュニケーションの大切さと、職業観・勤労観を育成する。 3 産業社会と自分たちのかかわりと、将来の進路について考えさせる。
使用教科書・副教材等	自作テキスト

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい
1学期	1 事前指導	4	・デュアルシステムの目的、目標を理解し、年間計画を作成する。
	2 企業実習	5	
		6	・希望する技術・技能の習得を行う。 ・マナー、コミュニケーションの大切さを理解する。
		7	
2学期	3 中間指導	8	・中間のまとめを行う。 ・希望する技術・技能の習得を行う。 ・マナー、コミュニケーションの大切さを理解する。
	4 企業実習	9	
		10	
		11	
3学期	5 企業実習	1	・希望する技術・技能の習得を行う。 ・マナー、コミュニケーションの大切さを理解する。 ・1年間のまとめを行う。
	6 事後指導	2	
		3	

(2) 評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・産業現場実習の意義を理解し、意欲的に取り組んでいるか。 ・職業資格と進路選択の可能性との関連を理解し、積極的に取り組んでいるか。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・産業現場の状況に応じて、主体的に努力目標を立てることができるか。 ・作業において、創意工夫が見られるか。
技能	<ul style="list-style-type: none"> ・技術・技能の熟練度が向上しているか。 ・報告書が適切に作成できているか。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・デュアルシステムの目的・目標を理解し、的確に実践できたか。 ・職場にて、マナー、コミュニケーションの大切さを理解できたか。
<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は、上記の観点を基により総合的に評価する。また、受け入れ企業の評価、体験日誌、教員訪問時の取組状況、出欠状況、自己評価、校内作業状況等も考慮し、総合的に評価する。 ・学年末の成績は、第1・2・3学期の評価をもとに総合的に判断して評価する。 	

3 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・デュアルシステムの目的・目標を明確に把握して、企業実習に臨んでください。 ・企業での実習は、指導者の諸注意をしっかりと聞き、特に安全作業に気を付けてください。 ・企業実習の中で、自分に不足しているものを見つけ、指導者に積極的に質問してください。
